

福山美術協会 第 75 回展 記念作品集



ご挨拶

福山美術協会理事長

高 地 秀 明

福山美術協会は1948年（昭和23年）に発足しました。戦後間もない時期、芸術文化をとおしての戦後復興、とりわけ心の豊かさを希求する美術に対する熱い情熱のもと、画家たちが福山の地に集い活動を重ねて参りました。そしてこの度、「第75回展記念作品集」を刊行できることを喜びたいと思います。

美術表現の第一の魅力は、多様性にあると考えます。それぞれの作家の個性・感性から、驚くほどの多彩・多様な作品が生まれます。それぞれに構図や色彩に工夫があり、抽象や具象など絵作りのアイデアが面白い作品が見られます。違っているもの、異なっているものを、互いに尊重し、認め合い、理解したり、共感したり、そして話し合ったり、このようなことが美術の良いところであり、美術鑑賞は楽しいものです。

福山美術協会では、毎年、広く市民から作品を募集する「公募展」と会員が出品する「会員展」を開催しています。これらの展覧会をとおして、福山・備後地域の芸術文化の振興，発展に寄与し、心豊かな福山を創造する一助になりたいと考えております。今後ともご理解とご支援を賜れば幸いです。

最後になりましたが、本作品集の刊行にあたり、ご尽力、ご協力頂いた皆様に心より感謝し、お礼を申し上げます。



福山美術協会創立75周年に寄せて

福山文化連盟会長

藤間 妃利美

福山美術協会創立75周年おめでとうございます。昭和23年に、美術団体「ぶらんだるじゃん」を引き継ぐ形で発足した福山美術協会の歩みは、同じ昭和23年に発足した福山文化連盟の歴史と重なっています。

草創の福山文化連盟の中心は演劇でしたが、戦後間もない福山で、「人の心を明るくするものは文化だ」という草創の方たちの思いや熱は同じだったのではないのでしょうか。

それから75年経ち、様々なことが変化する中でも、文化芸術を楽しむ心や欲求は変わらずあります。技術を磨きながら、常に新たな表現を求めて作品作りをし、他の方の作品を鑑賞して刺激を受け、また挑戦していく。それは音楽でも舞踊でも同じです。そしてそれは確実に自分の人生の豊かな実りの一つとなっていくと思います。

福山文化連盟は、福山の文化芸術の継承・発展を担っていくとともに、文化芸術に関わっておられる一人ひとりを応援しています。これからも福山美術協会の素晴らしい作品の展覧会が続いて行くことを期待するとともに、会員の皆さまがたのご健康と末永いご活躍を心よりお祈り申し上げます。

最後になりましたが福山美術協会の長い歴史を支えて来られた方々と、今回の展覧会と記念誌のお世話をされた方々へ心より敬意を表しお祝いのことばといたします。



祝 辞

福山市長

枝 広 直 幹

福山美術協会が75年を迎えられ、「第75回展記念作品集」を発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。

福山美術協会におかれましては、発足以来、美術の研究や指導をはじめ、福山文化連盟総合文化祭の協賛事業である会員展や55回に及ぶ公募展の開催など、市民に寄り添った継続的な活動を通じて、本市の芸術・文化の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

美術作品は、言葉を超えた普遍的な言語として、人々の心に深く響き、共感や感動を呼び起こします。特にこの困難な時代において、芸術は私たちに希望を与え、精神的な支えとなり、日常のストレスから解放してくれる重要な役割を果たしています。

皆様がこれまでに紡ぎ出した作品たちは、芸術の力を体現しており、私たちにとって大きな財産となっています。

この作品集が更なる創作活動のきっかけとなることを願っております。本市といたしましても、こうした芸術・文化の振興による豊かなまちづくりの実現に向け、取り組んでまいりますので、一層の御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、福山美術協会の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念いたしまして、祝辞といたします。



福山美術協会設立75周年を祝う

ふくやま美術館館長

原 田 一 敏

福山美術協会設立75周年、おめでとうございます。75前といえば戦後の復興が始まった時期であり、食料や身の回りの生活物資にも欠く状況にあって、美術を愛す人々が集まって協会を設立することは、大変な情熱がなければできなかったことでしょう。戦争という芸術文化とは対極する破壊行為から解放され、美術への鬱積していた思いが、強いエネルギーとなって人々を動かしていったことと思います。

70回の展覧会は、私がふくやま美術館の館長に就任して三年目のことでした。その後すぐにコロナウイルス感染症が蔓延して、ふくやま美術館の企画展や特別展が開催不可能となり、また会期の途中で打ち切られたこともありました。美術館のギャラリー、ホールは市民の方々の発表の場として、高校生から大きな美術団体まで幅広く利用されていますが、その展覧会も中止となるなど、この5年間は会員の皆様にとっても自由な活動できなかったと思われます。

この度「第75回展記念作品集」が刊行されることは、この5年間の困難な時を乗り越え、また新たな歴史を刻んでいくことで、とても意義あることと思っております。福山美術協会展は大規模な市民による展覧会で、多彩なジャンルの見応えのある作品が多く、私も毎回楽しみにしております。美術館では、デッサンや工芸などの教室を開講していて、一般の方々へ美を創造する活動をサポートしています。そこから公募展などの出品される方も多くおられると聞いております。

美術を創造する人々、また鑑賞する人々へ、これからもふくやま美術館は皆様と一緒に豊かな心の場所を提供して行きたいと考えております。四分の三世紀という節目の年を向け、さらに100年を目指して続けられることを祈念しております。

出品目録

1	在川 法子	薫風	9
2	安部 洋子	バイオリンのアルファ	9
3	池田 淳	南極観測に思いを馳せる	10
4	石井 浩司	舳い石	10
5	石岡 洋三	麦への想い	11
6	石本 壽枝	被爆樹が見ている広島	11
7	市川 フミエ	鞆の家並みと瀬戸の海	12
8	伊藤 寛治	Rose Garden	12
9	岩瀬 晶子	Scherzo	13
10	植村 亮司	城の街	13
11	卜部 俊孝	収穫	14
12	大場 直之	静寂	14
13	岡本 光郎	里山	15
14	小川 一男	日御碕	15
15	小川 眞喜	朝の川	16
16	尾熊 厚子	木霊	16
17	掛谷 公子	パーティを待つ人形たち	17
18	かとうゆみこ	はな・はな	17
19	河本 誠二	清い流れ	18
20	川本 雅之	無	18
21	来山 倫子	北の大地	19
22	吉柳 洋子	木洩れ日の路	19
23	久保 節子	紅葉の黒部峡谷	20
24	藏本 美恵	民具'24	20
25	桑田 正國	いつか朝の光が	21
26	桑原 捷彦	信州早春	21
27	毛村 洋子	秋宴	22
28	高地 秀明	白い庭	22
29	古志 範子	来夢	23
30	後藤美智子	コントラバス&トランペット	23

31	小林 福恵	気の領域	24	61	根岸 繁美	椿	39
32	坂本 育子	初秋	24	62	橋本 玲子	祈り	39
33	佐長 宗明	鞆港	25	63	長谷川雅敏	崖の街	40
34	真安 幸光	朝霧	25	64	浜本 千尋	Untitled(無題)	40
35	篠原 慎二	Wishing	26	65	広田 和典	平和	41
36	島田久美子	ラポルトと静物	26	66	吹抜 伸洋	鍾馗大神	41
37	塩飽 一昭	祖国	27	67	藤井 高道	大山春来	42
38	角 隆志	酒造会社	27	68	藤井 敏夫	黄昏の街	42
39	陶山 悦恵	生きる	28	69	藤井 正孝	瀬戸内の造船所	43
40	園尾 秀美	白樺	28	70	藤井 道義	トラとハナ	43
41	平 明子	生命の樹	29	71	藤岡 淳二	初夏の詩	44
42	平 普美子	花	29	72	藤岡 英昭	寒流	44
43	高田 明寛	ワイン樽と静物	30	73	藤田 伸一	宙に遊ぶ	45
44	高梨 月子	コスモス	30	74	船石 守郎	BIRD EYE (鳥の眼)	45
45	竹田 和子	夏の頃	31	75	馬越 佑子	ウォーターフロント2024	46
46	舘上 恵子	ファミリー	31	76	松井 敏昭	帰漁	46
47	舘原智恵美	福山城	32	77	光成 和昌	日本鋼管橋	47
48	立石貴美枝	待春	32	78	村上 幸子	阿蘇山	47
49	田中 佑二	西予のレンゲ祭り	33	79	守本 光一	桜咲く	48
50	田和 克章	バルト海を望む街 (エストニア・タリン)	33	80	山口 幸弘	徒然に	48
51	檀上 浩二	潮待ち・鞆の浦	34	81	和田 正巳	近田橋上流域	49
52	寺岡 玲子	ジュジュさん	34	82	和田 道雄	Koinobori 2024-01	49
53	時田 満	イカ釣り船(山陰の漁港)	35	83	和田 貢	ばら園	50
54	中嶋 令子	ひまわり	35				
55	中務 保鞏	管楽器	36				
56	中西 恵子	薫風	36				
57	中元 香苗	春の小川	37				
58	中山 秀子	部屋の一隅	37				
59	並木 貴子	風	38				
60	西江 幸美	漁港の一隅	38				



《薫風》
在川 法子 アクリル F30



《バイオリンのアルファ》
安部 洋子 油彩 F20



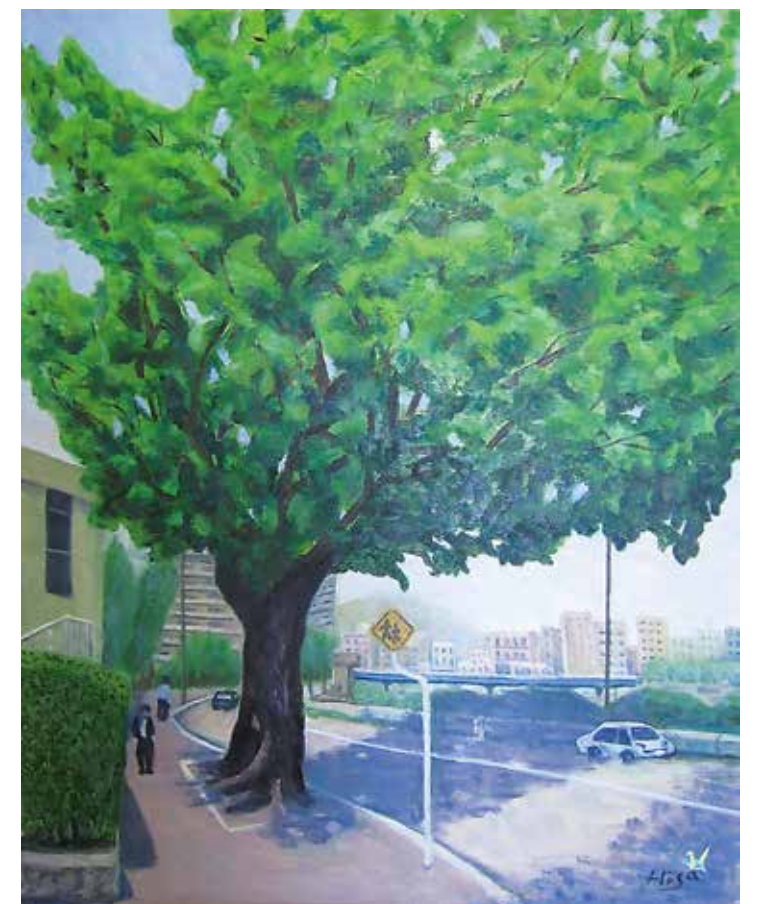
《南極観測に思いを馳せる》
池田 淳 アクリル F20



《麦への想い》
石岡 洋三 油彩 F30



《舳い石》
石井 浩司 水彩 S30



《被爆樹が見ている広島》
石本 壽枝 油彩 F30



《鞆の家並みと瀬戸の海》
市川 フミエ 油彩 F30



《Scherzo》
岩瀬 晶子 油彩 30



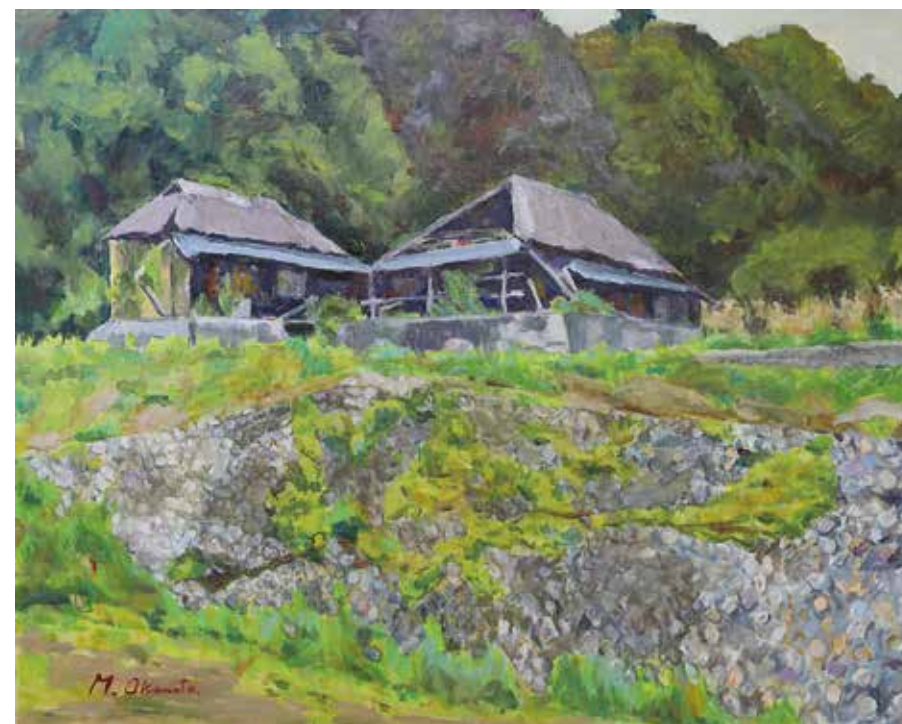
《Rose Garden》
伊藤 寛治 油彩 F30



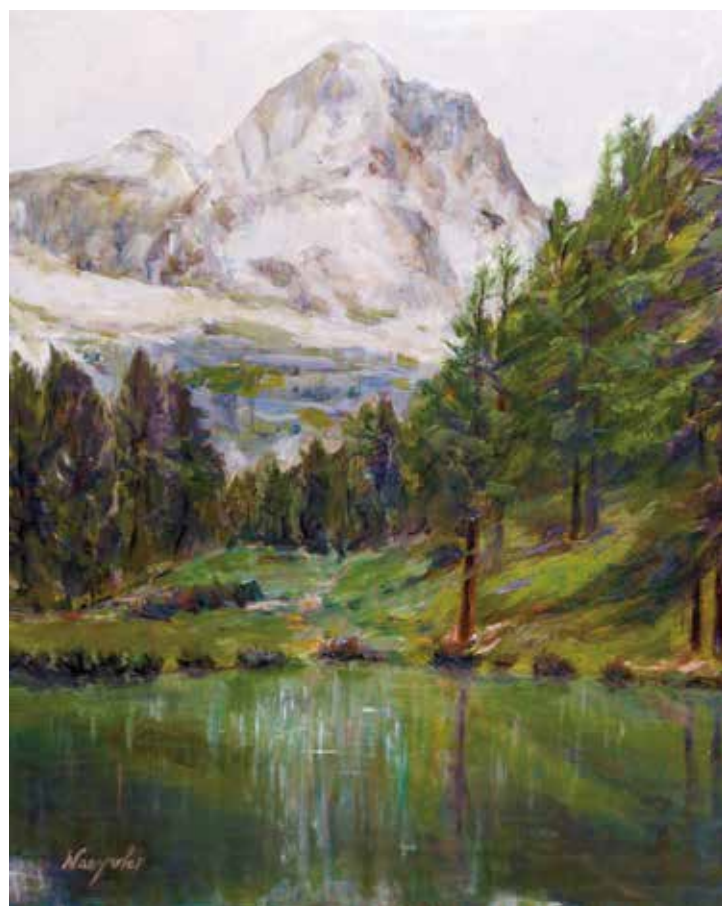
《城の街》
植村 亮司 油彩 F30



《収穫》
卜部 俊孝 油彩 F30



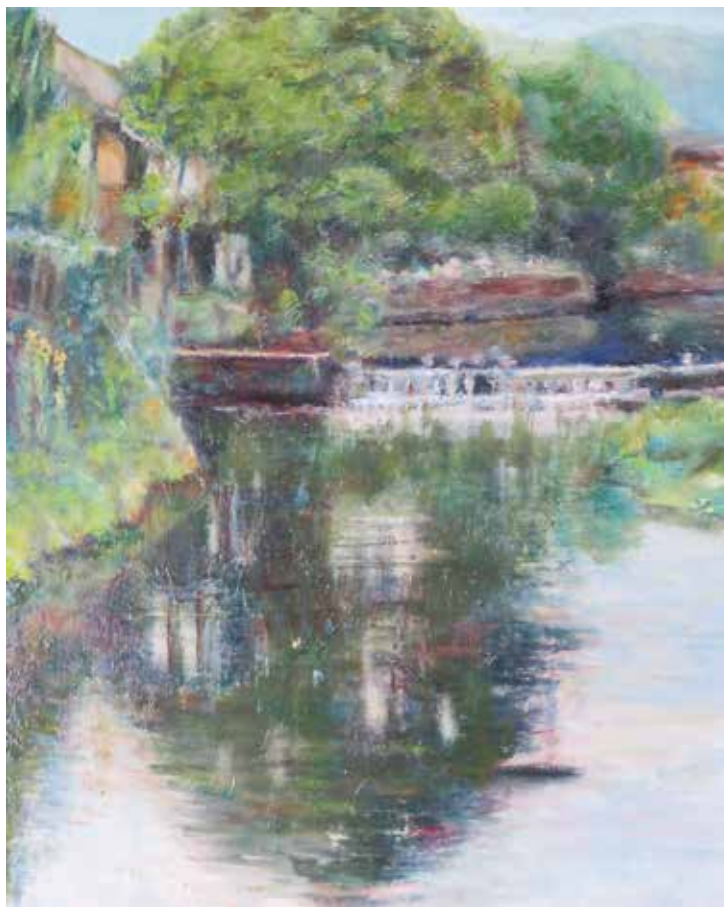
《里山》 岡本 光郎 油彩 F30



《静寂》
大場 直之 油彩 F30



《日御碕》
小川 一男 油彩 F30



《朝の川》
小川 眞喜 油彩 F30



《パーティを待つ人形たち》
掛谷 公子 油彩 F15



《木霊》
尾熊 厚子 油彩 F30



《はな・はな》
かとうゆみこ 銅版画 36×30



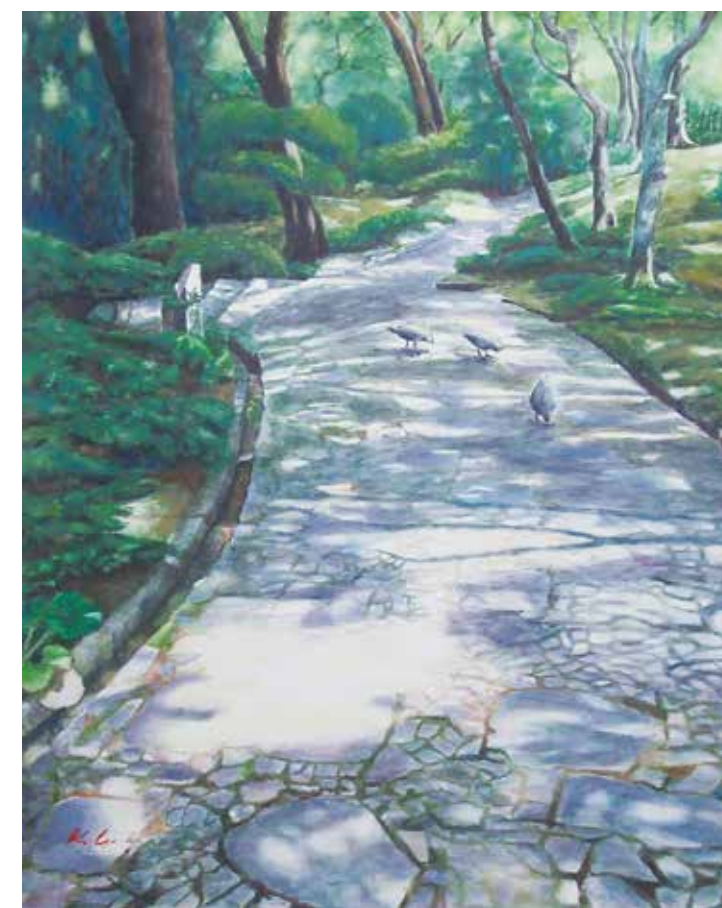
《清い流れ》
河本 誠二 油彩 F20



《北の大地》
来山 倫子 油彩 F20



《無》
川本 雅之 コラージュ F20



《木洩れ日の路》
吉柳 洋子 水彩 F30



《紅葉の黒部峡谷》
久保 節子 油彩 F30



《いつか朝の光が》
桑田 正國 油彩 F30



《民具' 24》
藏本 美恵 油彩 F30



《信州早春》 桑原 捷彦 油彩 F30



《秋宴》
毛村 洋子 水彩 F30



《来夢》
古志 範子 油彩 F20



《白い庭》 高地 秀明 アクリル F30



《コントラバス＆トランペット》
後藤美智子 F20 デッサン



《気の領域》 小林 福恵 油彩 F30



《鞆港》 佐長 宗明 油彩 F30



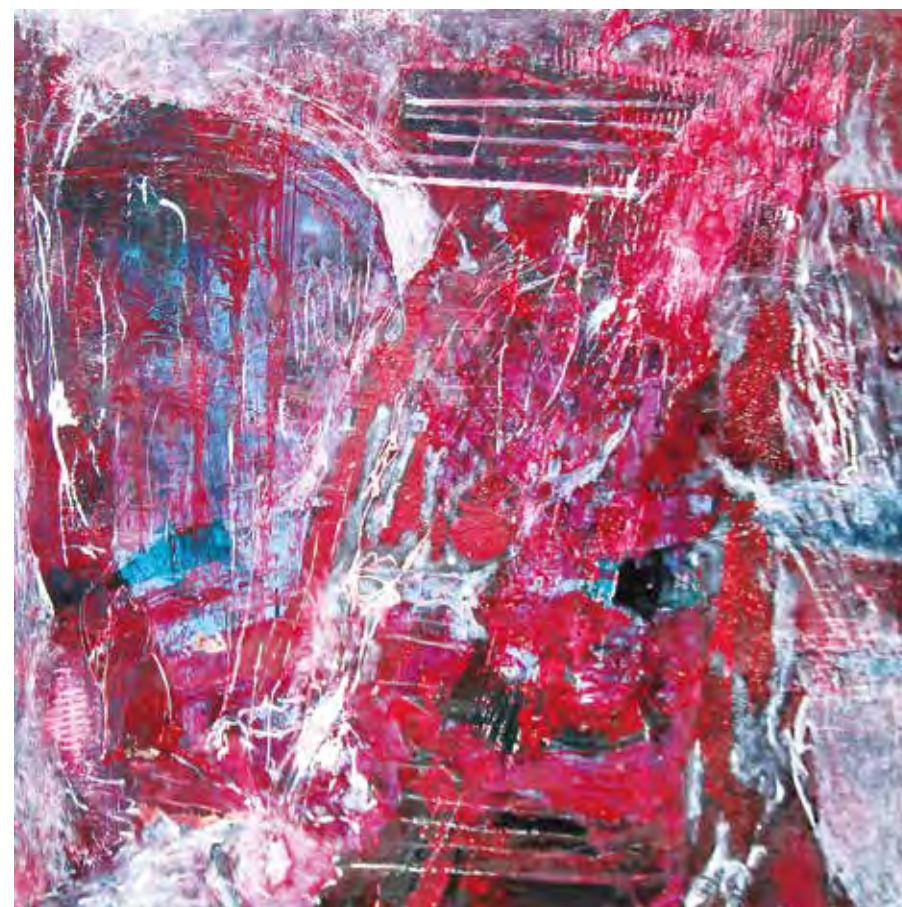
《初秋》
坂本 育子 油彩 F30



《朝霧》
真安 幸光 油彩 F30



《Wishing》
篠原 慎二 油彩 S30



《祖国》
塩飽 一昭 油彩 S30



《ラポルトと静物》 島田久美子 油彩 F30

《酒造会社》
角 隆志 油彩 F20





《生きる》 陶山 悦恵 油彩 F30



《生命の樹》
平 明子 油彩 F30



《白樺》
園尾 秀美 油彩 F30



《花》
平 普美子 油彩 F30



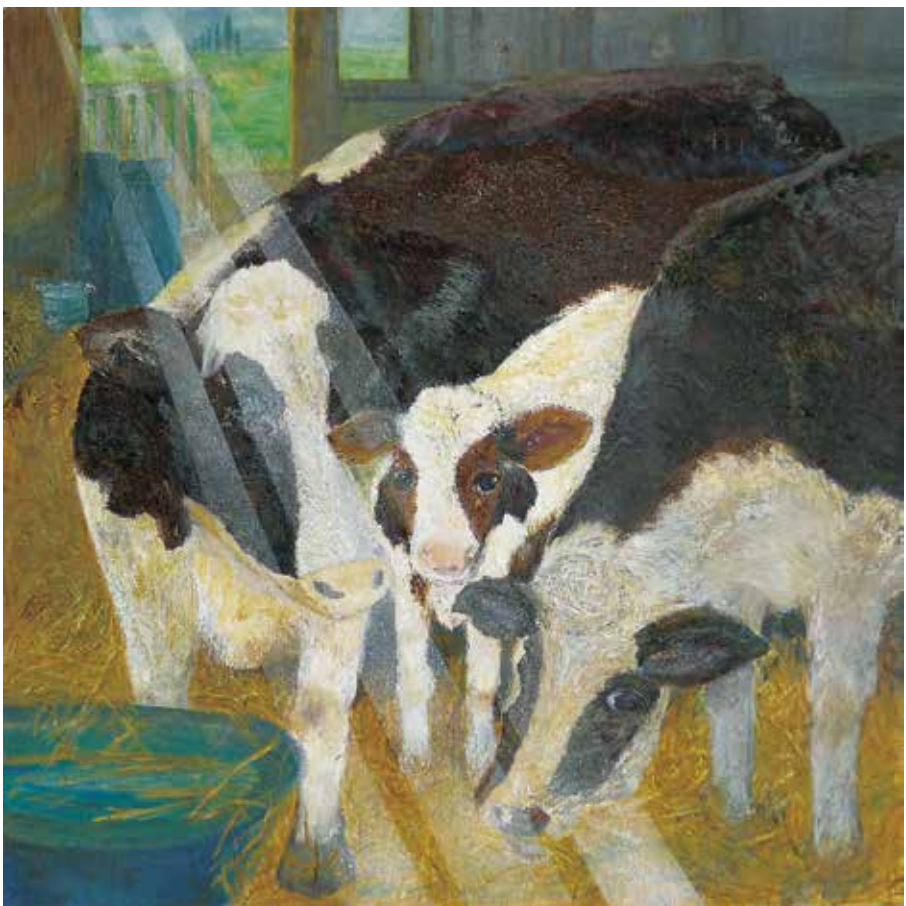
《ワイン樽と静物》
高田 明寛 油彩 F30



《夏の頃》
竹田 和子 油彩 F10



《コスモス》
高梨月子 油彩 F20



《ファミリー》
館上 恵子 油彩 S30



《福山城》
館原智恵美 油彩 F30



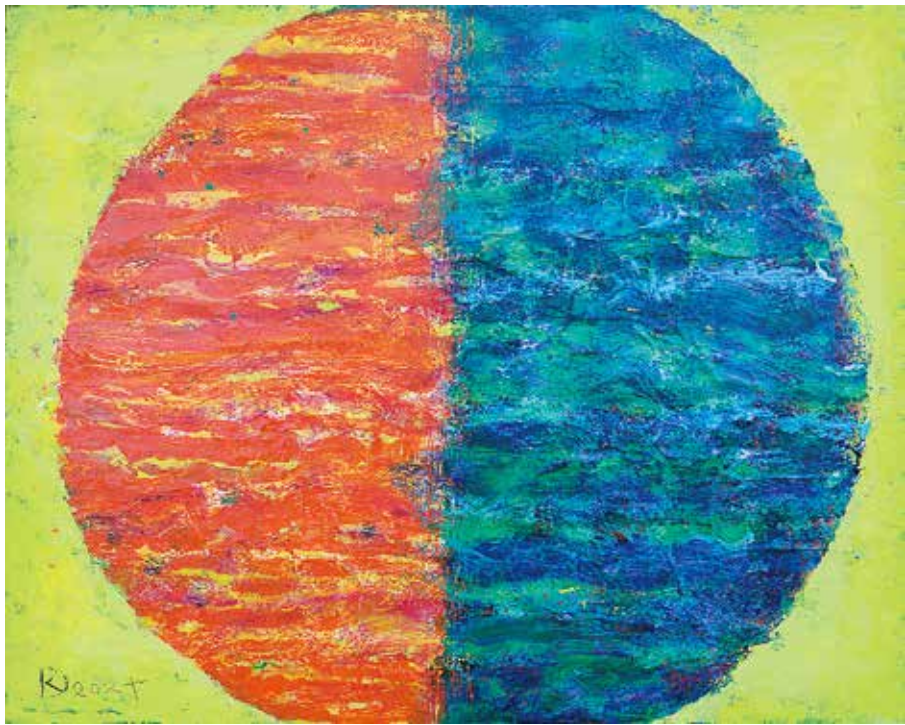
《西予のレンゲ祭り》 田中 佑二 水彩 P30



《待春》
立石貴美枝 油彩 F30



《バルト海を望む街 (エストニア・タリン)》 田和 克章 油彩 F30



《潮待ち・鞆の浦》 檀上 浩二 油彩 F20



《イカ釣り船(山陰の漁港)》 時田 満 油彩 F20



《ジュジュさん》
寺岡 玲子 油彩 F30



《ひまわり》
中嶋令子 油彩 S30



《管楽器》
中務 保肇 油彩 S30



《春の小川》
中元 香苗 油彩 F30



《薫風》
中西 恵子 油彩 F30



《部屋の一隅》
中山 秀子 油彩 F30



《風》 並木 貴子 アクリル F30



《椿》 根岸 繁美 油彩 F20



《漁港の一隅》 西江 幸美 油彩 F30



《祈り》
橋本 玲子 油彩 F30



《崖の街》
長谷川雅敏 油彩 F30



《平和》
広田 和典 油彩 F30

《Untitled (無題)》
浜本 千尋 アクリル S30



《鍾馗大神》
吹抜 伸洋 油彩 F20





《大山春来》 藤井 高道 油彩 F30



《瀬戸内の造船所》 藤井 正孝 油彩 F30



《黄昏の街》 藤井 敏夫 水彩 F30



《トラとハナ》 藤井 道義 油彩 F30



《初夏の詩》
藤岡 淳二 油彩 F30



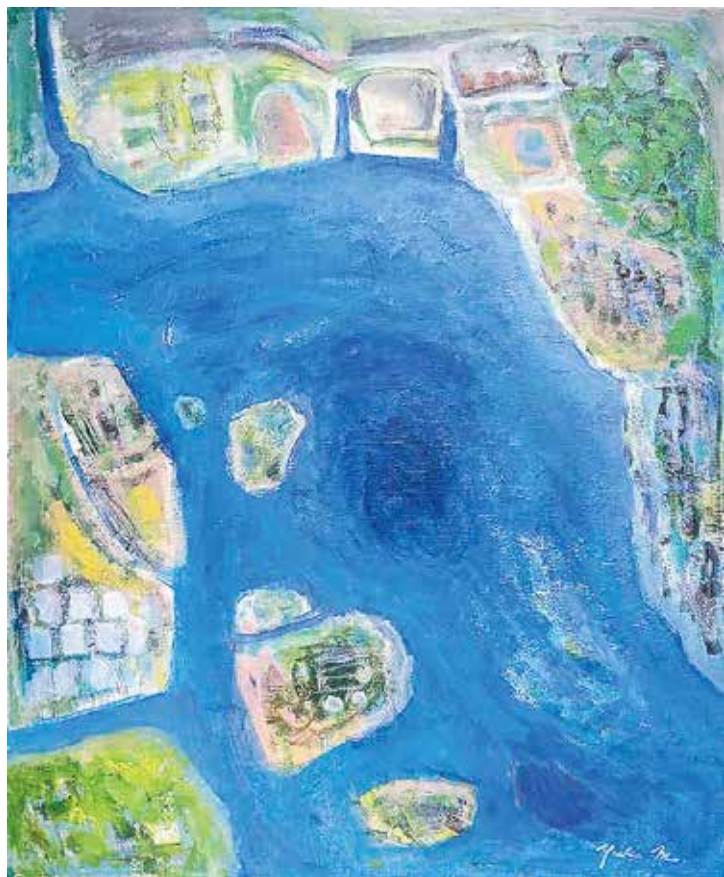
《宙に遊ぶ》 藤田 伸一 油彩 F12



《寒流》 藤岡 英昭 油彩 F30



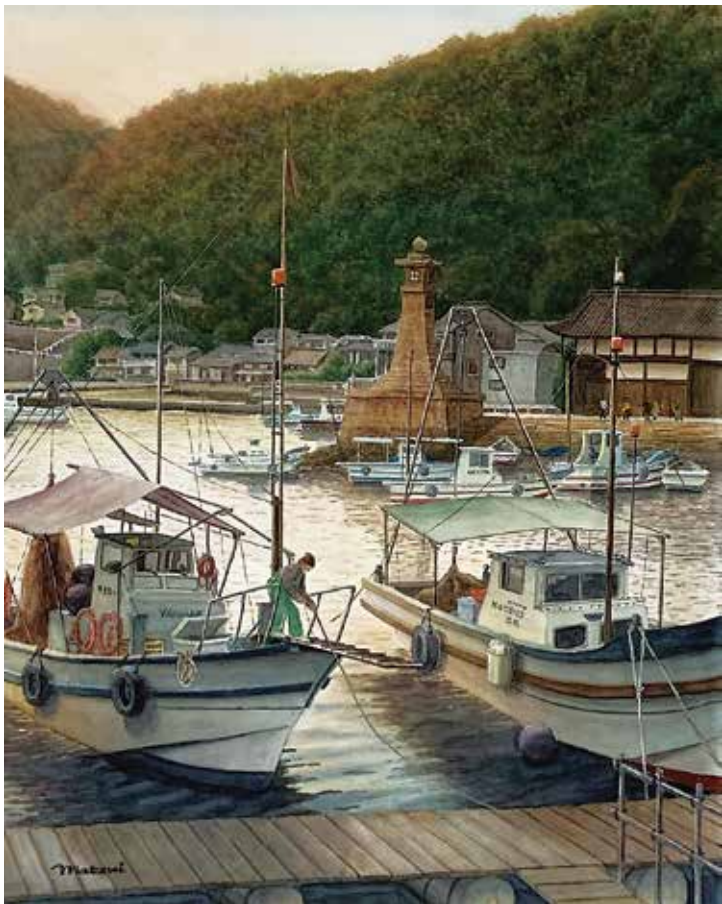
《BIRD EYE (鳥の眼)》
船石 守郎 油彩 S30



《ウォーターフロント 2024》
馬越 佑子 アクリル F30



《日本鋼管橋》 光成 和昌 油彩 F30



《帰漁》
松井 敏昭 水彩 F30



《阿蘇山》 村上 幸子 油彩 F30



《桜咲く》
守本 光一 油彩 S30



《近田橋上流域》 和田 正巳 油彩 P20



《徒然に》
山口 幸弘 水彩 P20



《Koinobori 2024-01》
和田 道雄 油彩 F30



《バラ園》 和田 貢 油彩 F10

福山美術協会役員名簿

名 誉 会 員		和 田 貢			
理 事					
顧 問		和 田 正巳	藤 田 伸一		
理 事 長		高 地 秀明			
常 任 理 事		在 川 法子	卜 部 俊孝	檀 上 浩二	
		長 谷 川 雅敏	浜 本 千尋	船 石 守郎	
		光 成 元秀	村 上 幸子		
事 務 局 長		植 村 亮司			
事 務 局 次 長		光 成 和 昌	小 林 福 恵		
事 務 局 員		真 安 幸 光	岩 瀬 晶 子	藤 井 道 義	
会 計		館 上 恵 子	平 明 子		
理 事		安 部 洋 子	石 岡 洋 三	尾 熊 厚 子	
		来 山 倫 子	掛 谷 公 子	木 村 照 恵	
		桑 原 捷 彦	坂 本 育 子	佐 長 宗 明	
		塩 飽 一 昭	篠 原 慎 二	田 中 佑 二	
		中 元 香 苗	広 田 和 典	吹 抜 伸 洋	
		馬 越 佑 子	山 口 幸 弘		
		中 西 恵 子	藤 井 高 道		
研究部					
		(部 長)	(副部長)	(副部長)	
		山 口 幸 弘	安 部 洋 子	尾 熊 厚 子	
		かとうゆみこ	木 村 照 恵	吉 柳 洋 子	
		久 保 節 子	藏 本 美 恵	毛 村 洋 子	
		後 藤 美 智 子	島 田 久 美 子	角 隆 志	
		館 原 智 恵 美	並 木 貴 子	西 江 幸 美	
		根 岸 繁 美	藤 井 正 孝	松 井 敏 昭	
		守 本 光 一	和 田 道 雄		